

11/9 अक्टू

PFA 暫定值 11 倍

沖縄嘉手納基地周辺で検出

米軍田代のヒルダ・H.
を研究するベッド・H.
ルター出世の日が
に、の日本向井興業
で実施した発がん性な

どが疑われる有機フッ素化合物(PFAS)の調査結果を公表しました。米軍嘉手納基地(同県嘉手納町・北谷町・沖縄市)隣接の廃棄場の浸出水からPFASが検出されました。今回の調査は、ベテランの方々が求められる正確さと信頼性を重視して実施されました。この結果、米軍由来の汚染が明らかになっています。

この調査結果は、沖縄市、北谷町、宜野湾市など、米軍基地の隣接する地域で、PFASによる汚染が確認された初めての事例です。この結果は、沖縄県民の健康に対する心配を深めています。また、この結果は、沖縄県民の健康に対する心配を深めています。

103種に及ぶ。
これらは27種類
のSPLASで生物を検
出し、それを含めた
回路のSPLASと測定値
は -1450.0 ± 0.5 で、
も上った結果。2型

な種のPFASの危険性も指摘しています。

六
七

糖尿病などのJの関連が
疑われるP.E.H.X.Sなど、
従来のPEOSS-P

P-PASは既に生き物の体内で濃縮され、数百から最大2000倍を超える濃度にあることもあると指摘。日本政府は、汚染が疑われる全国の土壤、地下水、大気、水生生物などのP-PASの値を調査し、規制に乗り出すべきだと求めています。

10

卷之三